



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社
 コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財経本部長 (氏名) 村田 良伸 TEL 03-3438-2291
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	76,276	11.1	3,763	△4.0	6,271	23.5	3,538	1.6
2022年3月期第2四半期	68,633	18.5	3,921	—	5,079	365.3	3,483	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 10,080百万円 (118.8%) 2022年3月期第2四半期 4,606百万円 (277.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	72.24	—
2022年3月期第2四半期	70.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	189,563	109,744	53.2	2,088.95
2022年3月期	180,955	103,094	52.1	1,920.35

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 100,814百万円 2022年3月期 94,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—	25.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,300	15.9	9,000	19.0	12,600	16.5	7,200	26.0	148.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	49,757,821株	2022年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,497,114株	2022年3月期	634,564株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	48,973,935株	2022年3月期2Q	49,103,780株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、ウィズコロナの経済対策へとシフトする一方、半導体等産業用資材の不足、ウクライナ危機の長期化に伴うエネルギー資源の高騰、中国ゼロコロナ政策等、サプライチェーンへの悪影響が続きました。加えて、世界的なインフレ圧力と金融引き締め等が景気の下振れ要因となり、不透明感は継続しています。

このような事業環境のもと、当社事業においては、円安による押し上げ効果もあり増収となりましたが、調達価格の高騰等により営業利益は伸び悩みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は762億76百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は37億63百万円（前年同期比4.0%減）、経常利益は為替差益12億35百万円を計上したこと等により62億71百万円（前年同期比23.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億38百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、世界的な自動車生産台数は緩やかに回復しつつありますが、半導体不足、中国主要都市でのロックダウン、東南アジアのコロナ影響等を受けました。円安による押し上げ効果により、当セグメントの売上高は422億96百万円（前年同期比2.6%増）となりましたが、販売量の減少、原材料価格の高騰、電力料の値上げなどが相俟って、営業利益は5億61百万円（前年同期比65.1%減）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、海外における顧客の操業が緩やかに回復したことにより、当セグメントの売上高は157億6百万円（前年同期比14.5%増）、営業利益は11億71百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、半導体業界の好調が継続し、投資意欲が引き続き旺盛であったことにより、当セグメントの売上高は78億37百万円（前年同期比38.6%増）、営業利益は5億89百万円（前年同期比74.2%増）となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、中国・韓国向け新造船市況好調と、国内、欧州での修繕部品需要が増加したことにより、当セグメントの売上高は65億17百万円（前年同期比23.0%増）、営業利益は15億1百万円（前年同期比55.7%増）となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、人工衛星向け仕入品の販売増により、当セグメントの売上高は39億18百万円（前年同期比43.6%増）となりました。プロダクトミックス等により営業損失は63百万円（前年同期は営業損失32百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

[資産]

当第2四半期連結会計期間末の資産は1,895億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ86億8百万円増加しました。これは主として棚卸資産が33億10百万円、有形固定資産が24億51百万円、投資有価証券が15億7百万円増加したことによるものであります。

[負債]

当第2四半期連結会計期間末の負債は798億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億59百万円増加しました。これは主として長期借入金10億11百万円、賞与引当金が8億22百万円増加したことによるものであります。

[純資産]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,097億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億49百万円増加しました。これは主として剰余金の配当により12億28百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を35億38百万円計上したこと及び為替換算調整勘定が49億25百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の連結業績を踏まえ、2022年8月2日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました連結業績予想を下記の通り修正いたします。

売上高は円安による押し上げ効果等により増加する見込みです。

利益については、原材料価格の高騰、エネルギー価格の上昇等により主に自動車・建設機械業界向け事業で悪化する一方、半導体業界向け事業においては増収により増益となる見通しです。

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 153,100	百万円 8,400	百万円 11,400	百万円 7,200	円 銭 146.57
今回修正予想 (B)	163,300	9,000	12,600	7,200	148.09
増減額 (B - A)	10,200	600	1,200	-	-
増減率 (%)	6.7	7.1	10.5	-	-
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	140,842	7,560	10,811	5,713	116.34

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,806	29,738
受取手形、売掛金及び契約資産	30,207	31,335
電子記録債権	5,248	4,976
商品及び製品	10,169	10,894
仕掛品	6,910	7,649
原材料及び貯蔵品	10,477	12,322
その他	6,600	6,426
貸倒引当金	△96	△95
流動資産合計	98,323	103,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,532	23,086
機械装置及び運搬具（純額）	21,972	21,456
その他（純額）	14,534	16,948
有形固定資産合計	59,039	61,491
無形固定資産		
のれん	1,266	1,047
その他	1,842	1,834
無形固定資産合計	3,108	2,881
投資その他の資産		
投資有価証券	12,785	14,292
その他	7,806	7,757
貸倒引当金	△108	△107
投資その他の資産合計	20,483	21,942
固定資産合計	82,631	86,315
資産合計	180,955	189,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,180	9,056
電子記録債務	2,512	2,493
短期借入金	13,022	13,236
未払法人税等	1,534	1,799
賞与引当金	2,679	3,501
その他の引当金	770	961
その他	12,985	12,145
流動負債合計	42,686	43,195
固定負債		
長期借入金	17,732	18,743
引当金	316	413
退職給付に係る負債	15,412	15,443
その他	1,713	2,023
固定負債合計	35,174	36,624
負債合計	77,860	79,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,296	11,296
利益剰余金	71,483	73,793
自己株式	△213	△1,201
株主資本合計	93,057	94,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	458	501
為替換算調整勘定	2,950	7,876
退職給付に係る調整累計額	△2,133	△1,942
その他の包括利益累計額合計	1,275	6,434
非支配株主持分	8,761	8,929
純資産合計	103,094	109,744
負債純資産合計	180,955	189,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	68,633	76,276
売上原価	52,469	58,602
売上総利益	16,164	17,674
販売費及び一般管理費	12,242	13,911
営業利益	3,921	3,763
営業外収益		
受取利息	106	161
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	701	814
為替差益	180	1,235
その他	418	500
営業外収益合計	1,417	2,724
営業外費用		
支払利息	194	195
その他	64	20
営業外費用合計	259	215
経常利益	5,079	6,271
特別利益		
固定資産売却益	5	29
特別利益合計	5	29
特別損失		
固定資産売却損	12	5
固定資産除却損	53	15
特別損失合計	65	20
税金等調整前四半期純利益	5,019	6,281
法人税等	852	1,990
四半期純利益	4,167	4,291
非支配株主に帰属する四半期純利益	684	753
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,483	3,538

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	4,167	4,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	71
為替換算調整勘定	9	4,557
退職給付に係る調整額	260	221
持分法適用会社に対する持分相当額	95	939
その他の包括利益合計	439	5,789
四半期包括利益	4,606	10,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,909	8,697
非支配株主に係る四半期包括利益	697	1,383

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	41,232	13,720	5,654	5,298	2,727	68,633	—	68,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	57	—	0	—	119	△119	—
計	41,293	13,777	5,654	5,299	2,727	68,752	△119	68,633
セグメント利益又は損失(△)	1,609	1,038	338	964	△32	3,917	4	3,921

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額4百万円は、セグメント間取引取消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	42,296	15,706	7,837	6,517	3,918	76,276	—	76,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	73	61	—	2	—	137	△137	—
計	42,370	15,767	7,837	6,520	3,918	76,414	△137	76,276
セグメント利益又は損失(△)	561	1,171	589	1,501	△63	3,760	2	3,763

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2百万円は、セグメント間取引取消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。